

# 和樹の夏祭り



## 【資料について】

とある町の中学二年生の和樹。大の夏祭り好きで毎年参加していたのだが、ここ数年、和樹の住む地域の祭りは開催されていなかった。夏休みも終わりが近づいてきたころ、塾の先輩の剛から熱心に「俺らの夏祭りに来ないか」と誘われる。その夏祭りで剛から聞いた「俺らの祭り」という言葉が和樹にはすごく引っかかった。

## 剛に夏祭りを誘われた時の和樹の気持ちは？



かずき  
和樹

嬉しいような嬉しくないような…

みんなに会えるかな…

どんなお祭りなのだろう…

## 「俺らの祭り」という一言が和樹の心に引っかかったのはなぜ？



自分には祭りに対して「俺たちの」という考えはなかったから。

剛の祭りに対する思いが伝わってきたから。

「参加者」ではなく「開催者」として立つ剛の姿に驚いたから。

## 地域の伝統を絶やさないために必要なことはなんだろう

- ・責任感
- ・一人一人が地域を創るという自覚
- ・思いやりの心
- ・人任せにしない
- ・中途半端に決断をしない
- ・周囲の人との協力